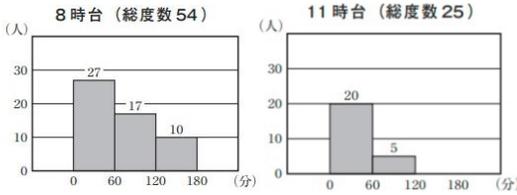


本単元でよく見られる生徒のつまずき

下のデータについて、「総度数を見ると、待ち時間60分未満の来院者数は8時台の方が11時台より多いとは言いきれない」と主張できる理由を説明しなさい。



【誤答例①】 8時台と11時台の待ち時間60分未満の相対度数が異なるため、多いとは言いきれない。

【誤答例②】 8時台と11時台の度数の合計が異なるため、多いとは言いきれない。

相対度数の意味の理解が十分でないため、根拠を明確に説明ができない。

授業での指導の工夫

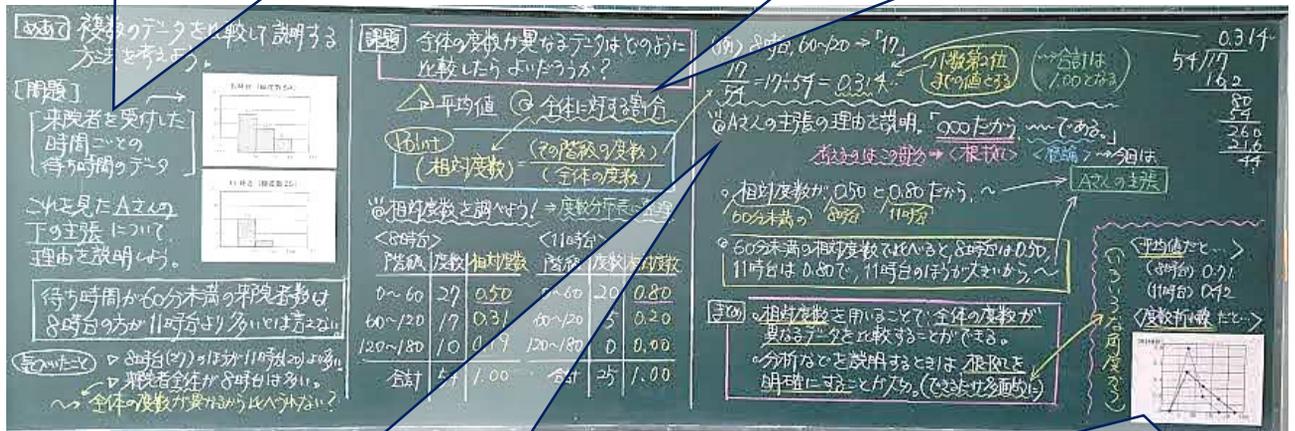
【本時の目標】 相対度数の必要性と意味を理解し、度数の異なる2つのデータの特徴を相対度数を利用して比較し、説明することができる。

【日常の事象を数学化する場面の設定】

- 日常の事象を数学で考察や処理ができるよう、数学化する過程を位置付け、数学を利用することの意義を実感できるようにします。

【解決方法を見いだす場面の設定】

- 割合で比べる方法を生徒が見いだしてから相対度数を定義することで、相対度数の必要性と意味を実感できるようにします。



【筋道立てて説明する場面の設定】

- 生徒が理由を説明する場面では、理由の説明には「根拠」と「結論」が必要であることを指導し、一人一人の説明を評価します。

【批判的に考察する力の育成】

- 代表値や度数折れ線などでの分析も取り上げ、データについて様々な視点から多面的に捉えることを単元を通して指導します。

授業づくりで大切にしたいこと

- 事象を数学化する過程や得られた結果を振り返る過程の設定
- 筋道立てた説明についての指導と評価の充実
- 単元を通して身に付けさせたい資質・能力の確認